

林業再生を町の宝に

町長 成長産業として復活できるように努力する



石川重二議員

分離発注の利点を重視すべきでは

問

木材を事前に発注することで、腐りにくく、色つやが良く、強度が増す「葉がらし乾燥法」が実施できる。またどの地域の木を使うか特定でき、森林所有者の利益還元が確実になり、伐採地の植林へつなげていく。

町長

木材を分離して事前発注し購入を行うと、想定され

町長

と作業車も入れない。まずは路網を整備し、人の手が入りやすいよう町としても努力を強めるべき。

路網の整備については、実際に利用するときには作業道として準備をしていくことが一番投資的経費も少なく、効果が上がるものと思っている。

再造林へつなげる取り組みが必要では

問

木材の廃材や余材まで、燃料や発電の材料として無駄なく使うことで、木材の付加価値を高め、再造林につなげていく取り組みが、将来、地域のためになると思うが。

町長

県内35市町村が県と一体となり、森林を大事な資源

里山保全が急務と思うが

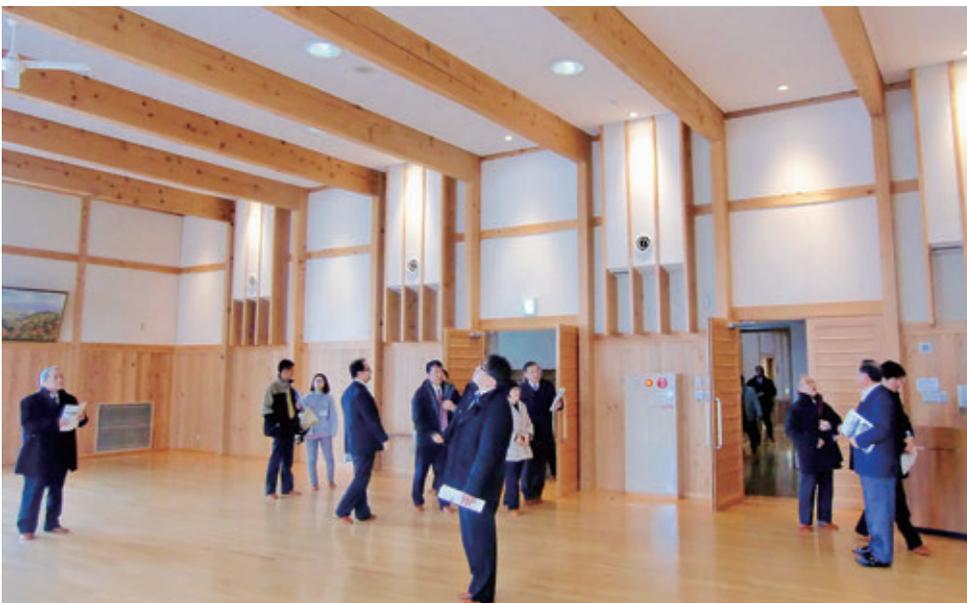
問

今後の防災のまちづくりは里山保全が大事である。路網がはっきりしない

る交付金の支援を受けられない。特に当町の場合は、製材を含む木材加工業者が少ない状況で、まずは対応できる体制を構築することが必要と考えている。可能な限り町産材を使い、町の人の手が関わる仕組みをつくり、林業が成長産業として復活できるように努力していく。

として活用しようと認識し合っている。当町としては森林資源をうまく活用しながら進めていきたい。

※葉がらし乾燥法
秋に切り倒し、枝葉をつけたまま翌年まで放置し乾燥させる伐採法。



木の匂いがいいなあ（鶴岡市木造建物視察）